

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 5年 3月 24日

事業所名 タイムこどもデイサービスゆつく

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			午後は少ないので十分である
	2	職員の配置数は適切である	○			1対1
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			玄関がバリアフリーではないが台を置いて工夫している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			ゆつく会議を毎週行い、そのなかでパートも含め職員全体で業務改善を進めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者の意向に添うよう会議等で話し合っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			3月末に法人HPIに、4月にディ通信に掲載している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		法人第三者委員が行っている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			会議での研修やOTからの研修を行っている。また、外部研修に職員は参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			中間モニタリングと作成会議を行い、計画を作成している
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			相談支援のものを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			会議で皆で話し合って立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			コロナ感染に気をつけながら様々な体験を行っている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		長期休みにしかできないことを取り入れているが、コロナで思うように実行できなかった。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別の療育・集団遊びの計画をしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○		開始前には打ち合わせ出来ないが、伝達事項は知らせ共有している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		気づきシートを活用している。送迎があるのでその日ではなく、週ごとにミーティングを開いている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			チェックリストや活動報告書に記録をつけている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			会議で評価を行い、必要に応じ見直している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			会議および面談で話し合っ、必要な項目を設定して行っている。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が出席している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎時に情報を共有し、連絡調整している。また、要請に応じ、学校の会議に管理者が出席している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		現在、該当なしたが、受け入れ体制はできている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		管理者及び児発管が相談支援と連携している
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		学校、放デイ、生活介護事業所が何回か集まって会議を行っている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		作業療法の先生にアドバイスを受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	コロナのせいで思うようにできなかった。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		積極的に参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時、連絡帳、電話などで対応している
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	コロナのためなかなか取り組めなかったが、チラシ等を配った
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の際、管理者が行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時、連絡帳、電話などで対応し、場合によっては個別に来ていただいて相談を行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	今は保護者会はコロナで中止しているが、運動会等の行事へ参加していただき交流を図っている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		本部や相談支援と連携し、迅速に行う体制がとれている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		タイム通信、デイ通信、ゆっく通信で発信している
	35	個人情報に十分注意している	○		会議等で注意を促すとともに、資料等もインシュアルで作成している。また目的以外の使用禁止を厳守している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		絵カードや写真を使っている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	コロナで開催できなかった

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	各マニュアルは策定されていて訓練も行っているが、保護者への周知は徹底していない
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		火災(消防署立会)、地震訓練を年2回、防水訓練を1回行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止委員会中心の研修、事業所会議での話し合いを行っている。また、県や市の研修、法人研修に参加している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		年2回の身体拘束適正化委員会で、組織的に取り組んでいる面談時に説明し同意書に署名してもらい個別支援計画書に記載していたが、改善されたので計画から外した
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	情報把握はしているが、おやつは持参なので医師の指示書はない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット用紙に記入し、再発防止策を話し合っており、会議で共有している。また、気づきシートも作成し有効活用している